

照明器具取扱説明書 屋外アイランプホルダ用アーム

保管用

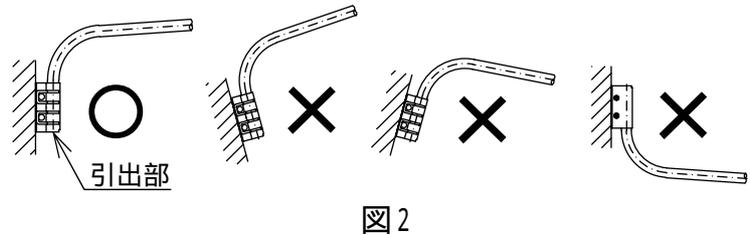
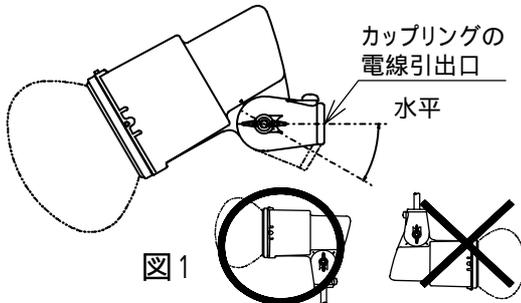
製品概要

適合のホルダと組合せてご使用ください(仕上色にご注意ください)

形式	仕様	アーム長	質量	適合ホルダ (-L14 看板灯用)	適合補強金具
F13(/W,BK)	固定アーム	965	1.4kg	S0(/W,BK)-L14,HS0(/W)-L14,K0(/W,BK)-L14,HK0(/W)-L14	F13-B
F14(/W)	伸縮アーム	980 ~ 1480	1.8kg	S0(/W)-L14,HS0(/W)-L14,K0(/W,BK)-L14,HK0(/W)-L14	F14-B
F15(/W)	固定アーム	800	0.9kg	K0(/W,BK)-L14,HK0(/W)-L14	

使用上の注意

- 適合の屋外用アイランプホルダ以外の製品には使用しないでください。
落下の原因となります。
- ホルダは口出線有効長1.8mの製品(形式末尾-L14)を必ずご使用ください。
- 適合ガードとの組合せにてご使用ください。
- カップリングの電線引出口が水平より下向きになるように取付けてください。(図1)
水平より上向きになるように取付けますと、カップリングの電線引出口から雨水が浸入する原因となりますので逆向きに取付はしないでください。
- アームは垂直な面へ取付けてください。(図2)
- 壁面取付の場合、口出線の引出部が下向きになるように取付けてください。(図2)
口出線の引出部が上向きになるように取付けますと、雨水が浸入する原因となります。



器具の配線工事は必ず工事店、電器店(有資格者)などがおこなってください。
資格のない人の配線工事は法律で禁止されています。

施工者様への安全に関するご注意

・お読みになったあとは、この「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。

<p>警告 「取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています」</p>	
<p>施工は取扱説明書に従って正しくおこなってください。 施工に不備があると、発火、感電、落下のおそれがあります。 器具銘板や取扱説明書に記載された適合ランプを安定器との組み合わせを確認のうえ、ご使用ください。 不適合の場合、発火、ランプ破裂のおそれがあります。 電源接続は、取扱説明書に従って確実におこなってください。発火、感電のおそれがあります。</p> <p style="text-align: right;">設置・施工</p>	<p>アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に おこなってください。 アースが不完全な場合は、感電の原因となります。 (D種(第三種)接地工事)</p> <p style="text-align: right;">設置・施工</p>
<p>振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、湿度85%を超える場所、塩害地域などでは使用しないでください。 発火、感電、落下のおそれがあります。</p> <p style="text-align: right;">使用環境</p>	<p>器具の改造・部品の変更はおこなわないでください。 感電・火災・落下の原因となります。</p> <p style="text-align: right;">保守・点検</p>
<p>器具は点灯中高温となり触れるとやけどのおそれがあるため、人が容易に触れる恐れのない所で使用してください。</p> <p style="text-align: right;">使用環境</p>	

注意 「取扱いを誤った場合、傷害を負うおそれまたは物的損傷が発生するおそれがある内容を示しています」

<p>この器具は、一般屋外用(防雨形)です。 それ以外の場所では使用できません。 浴室など湿度の高い場所には使用しないでください。 口出線引出部を上向きになる方向に取付けしないでください。 器具浸水による絶縁不良・感電の原因となります。 風の強い場所(風速2.0m/s以上)にアーム取付としてご使用の場合は別売のアーム補強金具を使用して、ワイヤー等により壁面・看板面へ堅牢に支持固定してください。 ガードを取付けてご使用ください。 不備があると、器具落下の原因になることがあります。 器具銘板や取扱説明書に記載された適合する種類 ・ワット(w)数のランプをご使用ください。 適合以外のランプを使用すると異常発熱・ランプ短寿命 ・防水不良の原因となる場合があります。</p>	<p>質量に耐える場所に確実に取付けてください。 取付けに不備があると落下の原因となることがあります。 器具(ランプ)の定格電圧と電源電圧(定格±6%)は、器具取付の際に必ず確認してください。誤って使用すると、火災・焼損・ランプ短寿命の原因となることがあります。 器具に100cmを超えて積雪する可能性のある場所では、使用しないでください。そのまま使用されますと器具の落下・絶縁不良・感電の原因となることがあります。 (使用する場所は必ず除雪をおこなってください。) 草や木で覆われる場所、器具の周囲に枯葉やゴミのたまる場所では使用しないでください。 火災の原因となることがあります。 冠水の恐れのある場所では、使用しないでください。 浸水・感電・火災の原因となることがあります。</p>
--	--

取付方法(壁面の場合)

1. フランジの固定

フランジの取付穴を使用して質量に耐える場所へ確実に取付けてください。

2. アイランプホルダの取付(図6)

・ホルダの口出線をアームの先端から挿入し、アームにホルダ固定ねじで確実に固定してから、更にゆるみ止めナットで確実に固定してください。

固定ねじは、アーム先端(図中矢印部)に締付けてください。ホルダにアームをしっかり押し込み、固定ねじを締付けたら矢印の位置に固定されます。
F13はアームに取付けられているOリングとホルダのカップリングの間に隙間が開かないように取付けてください。

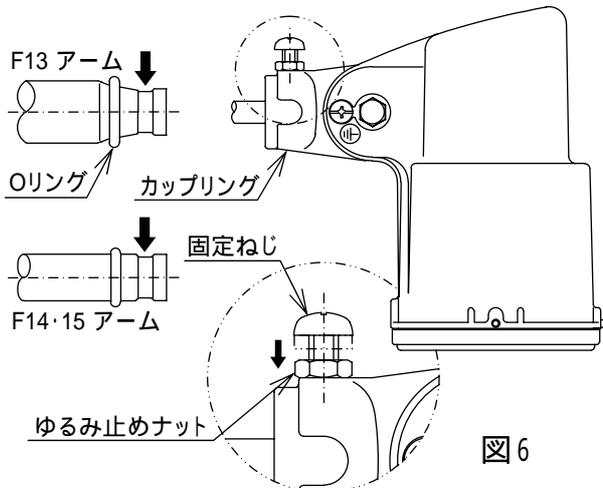


図6

3. アームの固定

(F13・F14の場合)

・セットねじを締付けて方向をさだめ、締付ナットを締め上げてください。(図3, 図4)

取付に不備がありますと落下の原因となることがあります。

アームを固定できる方向は4方向のみです。(図7)

セットねじをアームにあいている穴に貫通させる構造のため、それ以外の方向には固定できません。

F14は補助アームを伸縮させて長さを調整できます。調整後は必ず蝶ボルトを確実に固定してください。

(図4)

(F15の場合)

・ホルダの照射位置を決め、アームを締付ボルトを使用して締付けてください。(図5)

アームの固定位置は任意です。(図7)

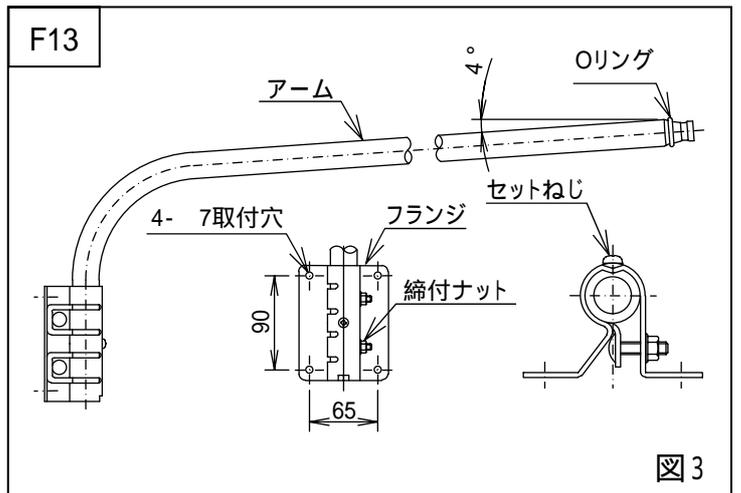


図3

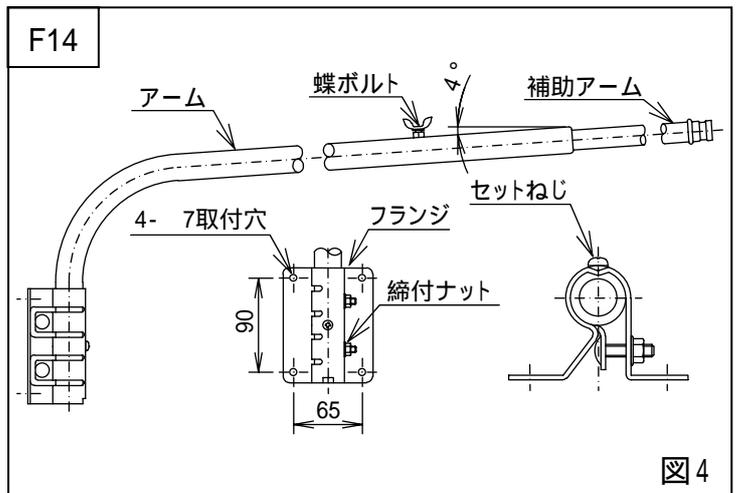


図4

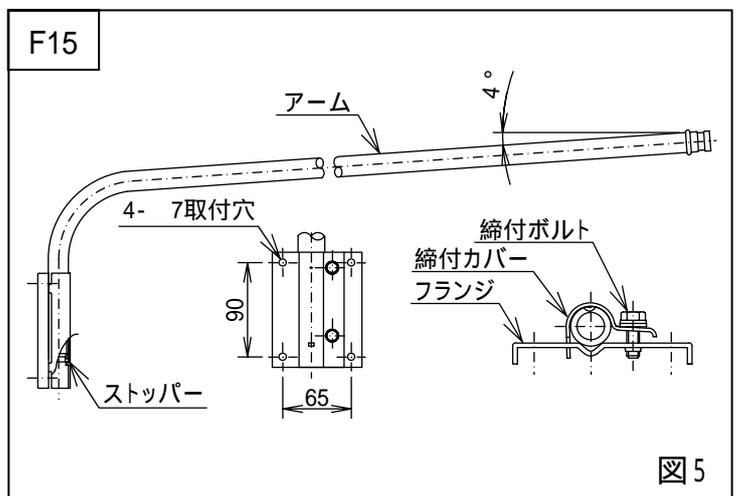


図5

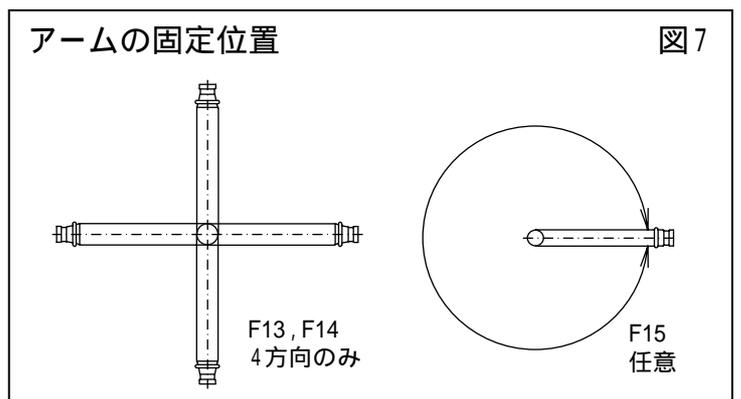


図7

取付方法(看板上部等の場合)

1. フランジの固定
 2. アイランプホルダの取付
 3. アームの固定
- } 取付方法(壁面の場合)を参照してください。

4. スペーサ取付(図8)

看板上部取付の場合、強風による揺れ等の原因でアームが下側へ傾き器具へ浸水する恐れがありますので、フランジのホルダ側にスペーサ(5mm)を挟んでアームが水平よりも上に傾くように取付けてください。

5. 防水処理(図9)

アームとカップリングの隙間に必ずシリコンコーキングなどの防水処理をしてください。

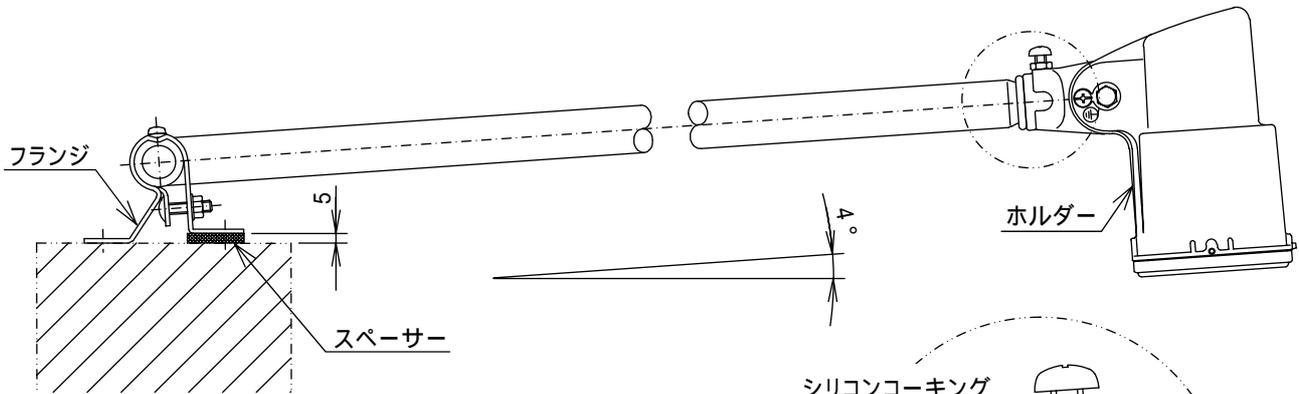


図8

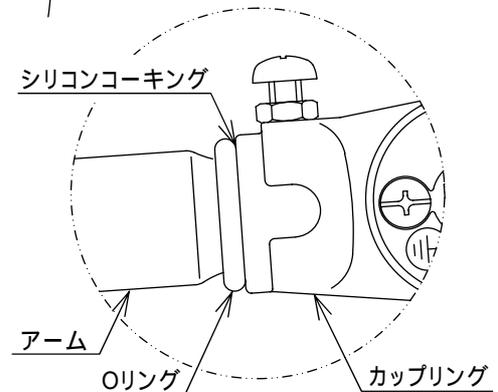


図9

風の強い地域で使用される場合

- ・ガード(別売品)を取付けてご使用ください。
- ・アーム補強金具(別売品)を使用して、アームの先端から壁面(看板面)等へワイヤー等(別途手配)にて堅牢に支持固定してください。(図10)

アーム補強金具(別売品)

アーム形式	適合補強金具
F13	F13-B
F14,F15	F14-B

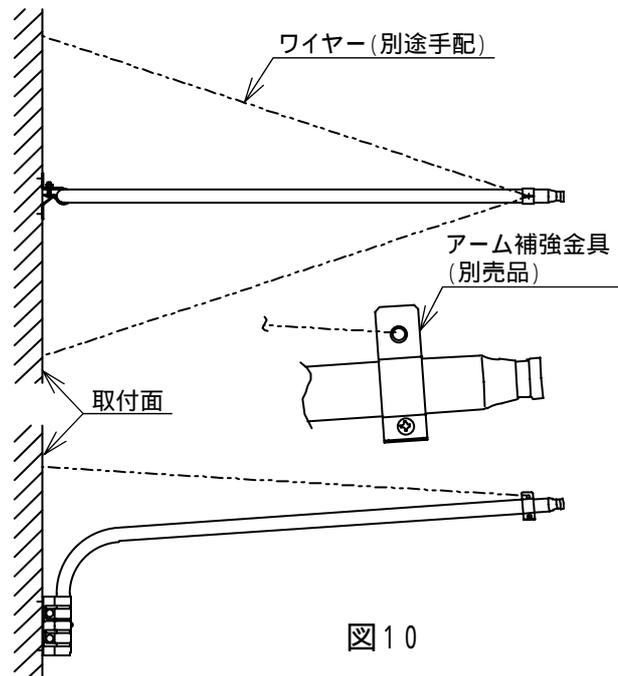
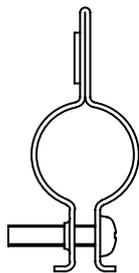


図10

お客様への安全に関するご注意

- ・ご使用の前にこの「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・お読みになったあとは、この「取扱説明書」を必ず保管してください。又、ランプ交換や器具清掃時などにも安全のために再度内容をご確認ください。

⚠ 警告 「取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています」	
ランプ点灯中および消灯直後の器具は高温になっていますので触らないでください。 やけどのおそれがあります。	 器具を改造しないでください。 発火、感電、落下のおそれがあります。
ランプ交換は器具銘板や取扱説明書に記載された適合ランプを、安定器との組み合わせを確認のうえ、ご使用ください。 発火、ランプ破裂のおそれがあります。	 万一、煙が出たり、異臭がするなど異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店または工事店にご相談ください。 異常のまま使用すると感電、発火のおそれがあります。
 保守・点検	 保守・点検
 保守・点検	 修理

⚠ 注意 「取扱いを誤った場合、傷害を負うおそれまたは物的損傷が発生するおそれがある内容を示しています」	
ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてからおこなってください。 感電・やけどの原因となることがあります。 ランプ交換の際は、取扱説明書に従って確実におこなってください。不備がありますと、火災・感電・浸水・落下の原因となることがあります。 照明器具には寿命があります。 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯 (JIS C 8105-1 解説による。)	周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、感電などに至るおそれがあります。 寿命で不点灯になったランプを交換する際には、ランプパッキンを同時にお取り替えください。 ランプパッキンに亀裂や劣化が生じると浸水による絶縁不良の原因となることがあります。

ランプパッキンの保守について

ランプパッキンは補修用交換部品です。定期的に点検をおこない交換してください。
保守部品のランプパッキンは、ホルダの形式をご確認の上、弊社の最寄の営業所までお問い合わせください。

保守上のご注意

器具の清掃について	・器具の汚れは、やわらかい布に中性洗剤を浸し、よくしぼって拭いてください。 ・シンナーやベンジン等の揮発性のものや酸性・アルカリ性の洗剤で拭かないでください。 材質の劣化による変質・変色の原因となることがあります。 ・直接殺虫剤をかけないでください。変色・変質の原因となります。
ランプ交換について	・ランプ交換は、器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認のうえ、おこなってください。 寿命で不点になったランプを交換する際には、ランプパッキンを同時にお取り替えください。
保証期間	この照明器具の保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。ただし、安定器は3年間です。 ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
交換部品	岩崎のランプをご使用ください。

お客様へ ランプ交換など保守のために、下記施工記録表をご確認のうえ、適切な保守部品をお求めください。
なお、安全のため保守作業は、できるだけ施工者にご依頼ください。

保守のための記録

施工者様へ

安全で便利な保守のために、各欄に記入しお客様に渡してください。

お客様へ

ランプなどの交換の際は、適切な部品をお求めください。
なお、安全のため保守作業はできるだけ施工者にご依頼ください。

施工記録表

工 事 名	年 月 日取付
施 工 者 名	TEL
器 具 形 式	() 台
電 源	
ブレーカー番号	

商品に関するご相談窓口

お問い合わせの際は、器具銘板(形式)または施工記録表をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

【Cセンター】電話番号 048(554)1124 FAX 048(554)7445

お問い合わせ受付時間 月曜～金曜/9:00～17:00(土曜・日曜・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く)

電話番号等、変更になる場合があります。ホームページでご確認ください。

岩崎電気株式会社

本 社 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16馬喰町第一ビルディング
TEL 03(5847)8611 (大代) <http://www.iwasaki.co.jp/>

LIGHTING EQUIPMENT DIV.

EM001041-1